

シリーズ
第5回

日本電子株式会社・AMED/BINDS 事業 共催

CRYO ARM 講座

開催形式：オンライン形式

定員：100名

参加費：無料

『クライオ電子顕微鏡法に用いられる 検出器の技術と特長』

8月7日 月 17:00-18:00

主催：筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 岩崎 憲治

開催場所：オンライン

要旨

様々な測定機器において、その対象を正しく記録し、続く分析に適切な結果を与えることのできる検出器は装置の要となるデバイスです。同様にクライオ電子顕微鏡法においても、電子顕微鏡の電子の検出に用いられる検出器、すなわちデジタルカメラは非常に重要な役割を果たしています。革新的なデジタルカメラの登場が、2017年にノーベル化学賞がクライオ電子顕微鏡法に授けられる要因となっていたことは、多くの生物電子顕微鏡学者の知るところでしょう。

本セミナーでは、電子顕微鏡に用いられる検出器の基本的な原理、構造について触れると共に、最新の検出器の特長と機能について紹介します。



講師

アメテック株式会社
ガタン事業部
伊野家 浩司 氏



申込方法

参加申込フォームからお申込ください【締め切り】8/1(火) 17時
<https://forms.gle/Uea5Jzg5MD86vP1g8>

お問い合わせ

岩崎研究室 谷川 TEL:029-853-6432 (9時半-17時)
tanigawa.satoko.gm@un.tsukuba.ac.jp

